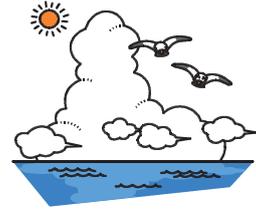




第2章



「アクティビティ編」

ワークショップによる人権学習のプログラムでは、学習者に対してどのような人権問題に迫ってもらいたいのか、どのような力を身に付けてもらいたいのか、どのような気付きを促したいのかなど一貫した学習目標が大切です。それに基づいてアクティビティを選択し、プログラムの流れを決定します。

第2章では、子どもの人権を守る上で、有効と考えられるテーマのアクティビティを作成しました。それぞれのアクティビティでは、ねらいや展開、使用するワークシートや資料のほか、ファシリテーターの言葉かけ例も掲載しています。学習者の構成やニーズなども考慮し、適宜、アレンジを加えながら使用してください。



第2章の構成

- 見方を変えれば 9
- どんな言葉をかけますか？ 15
- その「つぶやき」本当に大丈夫？ 19
～SNSをとおした人権の侵害について考えよう～
- 「平気だよ…」 25
～児童虐待について考えよう～
- 「普通」ってなんだろう？ 31
～性的マイノリティについて考えよう～